

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

柳村 俳句は、十年程前に新聞に投句したこ

とがきっかけでした。俳句雑誌にも掲載されるようになったことから、本格的に俳句を始めました。滑稽俳句は、月刊誌『俳壇』の、当時は「微苦笑俳壇」という名称で八木会長が選者の滑稽俳句欄に掲載されたことから、つくるようになりました。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

柳村 ずばり、可笑し味だと思いますね。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

柳村 これも、ずばり、俳句の本質です。

編集部 滑稽俳句を続けて良かった事は？

柳村 可笑し味を共有できる方々とつながっていただけることです。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

柳村 コツは、分かりませんねえ。数多くの滑稽句を読み、詠むことでしょうか。八木会長の句集の『ゆず』『ふふふ』は、落ち込んだり、句ができない時などに、読み返しています。

【代表句】

是非もなく笑はせたがる初日寄席
春愁や高学歴の無学力
縁日の真の主役は兜虫
残る蚊の右眼に遊ぶ飛蚊症
松茸やそれらしきもの碗の底